

## 令和7年度 第2回島根県図書館大会報告

- 1 日時  
令和7年11月15日(土) 10:15~15:30
- 2 会場  
島根県立男女共同参画センター あすてらす 3階研修室
- 3 大会テーマ  
つなげよう島根の図書館 分かち合おう図書館の未来
- 4 参加者数  
78名(一般参加者、協会役員・スタッフ・関係者)
- 5 内容
  - (1)基調講演 10:30~12:00  
「社会の未来を紡ぎだすために ~連携・協働の輪の中で輝く図書館へ~」  
森 いづみ氏(県立長野図書館 館長)
  - (2)特別報告 13:00~14:00  
【島根県学校図書館協議会】  
「学校図書館の「当たり前」を変えていこう ~読むことに困難を持つ子どもたちも読書を楽しめる環境へ~」  
井上 賞子氏(松江市立島根小学校 教諭)
  - (3)事例報告 14:20~15:20
    - ①【島根県公共図書館協議会】  
「図書館と博物館 連携の協働展示 ~様々な出会いをいかして~」  
景山 民子氏(雲南市立木次図書館 司書)  
梅木 里奈氏(雲南市立大東図書館 司書)
    - ②【(公財)しまね女性センター】  
「図書館から発信する男女共同参画 ~今日と明日への課題~」  
恒松 哲也氏(あすてらす情報ライブラリー 総務課長)  
下垣 夏希氏(あすてらす情報ライブラリー 事務員)
  - (4)参加者交流 14:00~14:20
- 6 参加者アンケート(48人分回収)
  - (1)研修の満足度・・・非常に満足 38人(79.2%)、やや満足 10人(20.8%)

## (2) 参加者の感想 (抜粋)

- ・ テーマの通りの内容で、いかに他者と手を取り合っていくことが大事か改めて実感した。自館で何が出来るか、今後少し希望が持てた。
- ・ 基調講演はとても良かった。森さんのお話は島根の図書館のあり方、各関係機関の協力のあり方を考える上で参考になることが多くあった。また不可能を可能にする力、未来を明るく考える力を感じ、元気をもらうことができた。
- ・ 学校図書館に勤めているので、『学校図書館の「当たり前」を変えていこう』という議題に惹かれた。そこで、自分で読むのが困難な子どもでも、読んであげたら、理解できる子がいるんだなあと始めて知った。学校司書として、出来ることから取り組んでいきたいと思った。
- ・ 会場内の展示ブースはお互いの活動を知るという意味で有意義だった。特別報告や事例報告も現状や取組を知るよい機会となった。県内のあらゆる人が豊かな読書、学びを深める読書をするにはどうしたらいいか…と考える上で視野が広がった。

